



AX-Edge

取扱説明書



AX-Edge の取扱説明書の構成

取扱説明書  (本書)、 (最新版 PDF を web で公開しています)

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。

パラメーター・ガイド 

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。

サウンド・リスト 

本機に収録されている音色のリストです。

MIDI インプリメンテーション 

MIDIメッセージの詳細資料です。

PDF マニュアルの入手方法

- 1 <https://www.roland.com/jp/support/> にアクセス
- ↓
- 2 Support メニューの「取扱説明書」を選択
- ↓
- 3 「AX-Edge」を選択

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.22)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

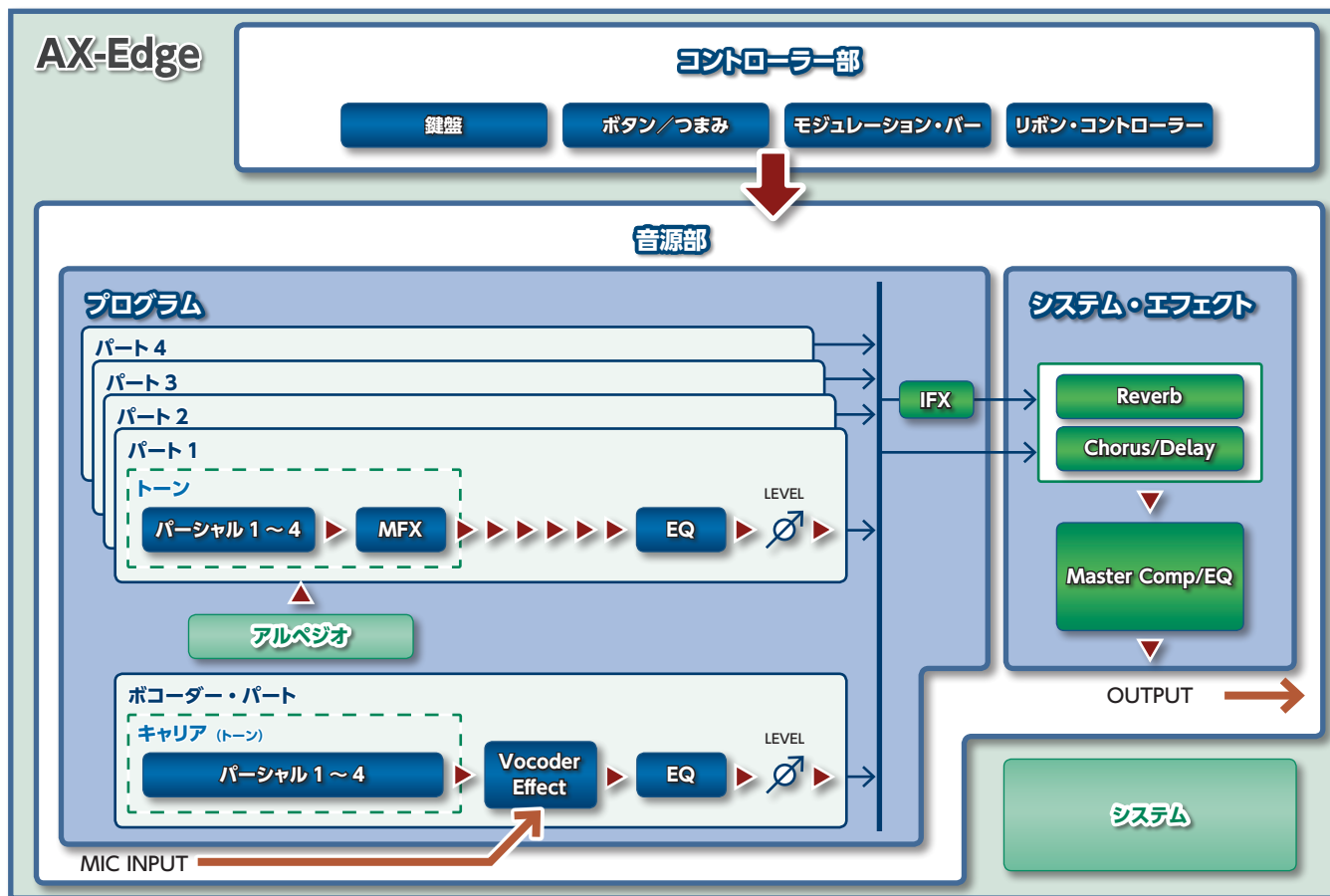
© 2018 Roland Corporation

目次

はじめに	3
◇ AX-Edge の概要	3
各部の名称とはたらき	4
◇ トップ・パネル	4
◇ ボトム・パネル (本体裏面)	5
電池を入れる	5
◇ リア・パネル	6
外部機器と接続する	7
◇ 電源を入れる	8
電源を切る	8
◇ 全体の音量を調節する (マスター・ボリューム)	8
◇ 一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)	8
◇ エッジ・ブレードを付け替える	8
演奏する	9
◇ 音色 (プログラム) を選ぶ	9
◇ よく使う音色をボタンに登録する (FAVORITE)	9
フェイバリットに登録する	9
フェイバリットを呼び出す	9
フェイバリット・バンクを切り替える	9
フェイバリットを削除する	9
演奏機能を使う	10
◇ ボタンやコントローラーを使う	10
鍵域をオクターブ高く／低くする (オクターブ・シフト)	10
音をなめらかに変化させる (ポルタメント)	10
音を持続させる (ホールド)	10
同じトーンを重ねて鳴らして音を厚くする (ユニゾン)	11
演奏中に音が変わらないようにする (ロック機能)	11
◇ 演奏中にサウンドを変化させる	11
モジュレーション・バーを使う	11
リボン・コントローラーを使う	11
コントロール・ボタン／つまみを使う ([S1] ~ [S7] ボタン / [ASSIGNABLE CONTROL] つまみ)	12
ペダルを使う	12
押さえた鍵盤をさらに押して音を変化させる (アフタータッチ)	12
◇ 操作子ごとに機能を設定する	12

その他の演奏機能を使う	13
◇ USB メモリーのオーディオ・ファイルに合わせて演奏する (Song Player)	13
◇ アルペジオ演奏をする (Arpeggio)	13
◇ ボコーダーを使う (Vocoder)	14
ボコーダーの設定を変更する	14
マイクの感度を調整する	14
◇ AX-Edge をマスター・キーボードにする	15
音色をエディットする	16
◇ システム・エフェクトをエディットする	16
◇ プログラムをエディットする	16
プログラムを保存する (プログラム・ライト)	16
外部機器を接続する	17
◇ MIDI 機器と接続する (MIDI IN/OUT 端子)	17
◇ パソコンと接続する (USB COMPUTER 端子)	17
フェライト・コアの取り付け	17
◇ Bluetooth® 機器と接続する	17
その他の機能	18
◇ 電池残量を確認する	18
◇ 便利な機能 (UTILITY)	18
◇ データを USB メモリーにバックアップする (BACKUP)	18
◇ バックアップしたデータを復元する (RESTORE)	19
◇ 音色を追加する (IMPORT TONE)	19
◇ 工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)	19
◇ ユーザー・データを初期化する (RESET USR DATA)	19
◇ ユーザー・ライセンスを初期化する (REMOVE LICENSE)	20
◇ USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)	20
◇ システム設定をする (SYSTEM)	20
システム設定を保存する (システム・ライト)	20
プログラムのバージョンを表示する (VERSION INFO)	20
主な仕様	21
安全上のご注意	22
使用上のご注意	22

AX-Edge の概要



コントローラー部

コントローラー部は、演奏する部分です。

鍵盤を押す/離す、モジュレーション・バーを押すなどの演奏情報を、音源部に送ります。

本機のコントローラー部には、鍵盤、モジュレーション・バー、リボン・コントローラー、パネル上のボタンやつまみが含まれます。

音源部

音源部は、音を発生させる部分です。

コントローラー部から送られてきた演奏情報を受けて、音を鳴らします。

プログラム

本機では、音を「プログラム」という単位で切り替えます。

プログラムは4つのパートとポコーダー用のパートで構成され、アルペジオやエフェクトの設定などもプログラム単位で記憶しています。

トーン

パートごとに1つのトーン（音色）を選ぶことができます。

トーンは4つの音素片（パーシャル）で構成されており、トーンごとにマルチエフェクト（MFX）を設定できます。

スマートフォン用のエディター（AX-Edge Editor）でトーンのエディットができます。

エフェクト

本機にはトーン用のマルチエフェクト（MFX）、プログラム単位で設定するマルチエフェクト（IFX）、最終出力にかかるエフェクト（システム・エフェクト）としてリバーブ、コーラス/ディレイ、コンプレッサー、EQが搭載されています。

リバーブ、コーラス/ディレイはプログラムごとに設定して切り替えることもできます。

システム

AX-Edgeの動作環境を決めるシステム・パラメーターの設定を記憶しています。

→ 「システム設定をする (SYSTEM)」 (P.20)

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

バンク／ナンバー・ディスプレイ

3桁のディスプレイで、選んだ音色のバンクと番号を表示します。

LCD ディスプレイ

操作に応じて、いろいろな情報を表示します。

2 基本操作ボタン

カーソル [◀] [▶] ボタン

カーソル位置を左右に移動します。
または、画面を切り替えます。

[-] [+] ボタン

値を変更します。
片方のボタンを押しながら、もう一方のボタンを押すと、値が速く変わります。

[EXIT] ボタン

元の画面に戻ります。
画面によっては、実行中の機能を中断します。

[ENTER] ボタン

値の確定や操作を実行します。

[SHIFT] ボタン

他のボタンと組み合わせると、いろいろな機能を実行します。

[MENU/WRITE] ボタン

MENU 画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンと組み合わせると、音色やシステムなどの設定を保存します (P.12、P.20)。

3 FAVORITE

9 ページ

FAVORITE [ON] ボタン

FAVORITE 機能をオン／オフします。

FAVORITE [BANK] ボタン

お気に入りの音色 (プログラム) を登録できる FAVORITE メモリー (P.9) のバンクを選びます。

4 PROGRAM ボタン

9 ページ

[EDGE LEAD] ~ [VOCODER/VOICE] ボタン

[0] ~ [9] ボタン

音色 (プログラム) のカテゴリーを選びます。

[FAVORITE] ボタンまたは **[BANK] ボタン**が点灯しているときは、**[0] ~ [9] ボタン**として機能します。

5 SONG PLAYER

13 ページ

SONG PLAYER [LIST] ボタン

SONG LIST を表示します。

SONG PLAYER [▶/■] ボタン

選んだ SONG を再生／停止します。

6 ARPEGGIO/LOCK

[ARPEGGIO] ボタン

13 ページ

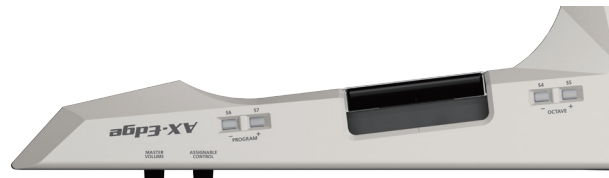
アルペジオのオン／オフを切り替えます。

[LOCK] ボタン

11 ページ

ボタンの長押しでパネル・ロック (パネル操作を無効にする機能) のオン／オフを切り替えます。

7 ネック・コントロール部 (トップ・パネル)



[MASTER VOLUME] つまみ

全体の音量を調節します。

[ASSIGNABLE CONTROL] つまみ

つまみに割り当てられたパラメーターをコントロールできます。

PROGRAM [-] [+] ボタン ([56], [57] ボタン)

9 ページ

ボタンを押すたびに、音色 (プログラム) が順番に切り替わります。

FAVORITE 機能が ON のときは、FAVORITE に登録された音色が順番に切り替わります。

MODULATION BAR (モジュレーション・バー)

11 ページ

モジュレーション・バーを押すと、演奏音にモジュレーションがかかります。

RIBBON CONTROLLER (リボン・コントローラー)

11 ページ

コントローラー上で指を左右にスライドさせると、ピッチが変化します。

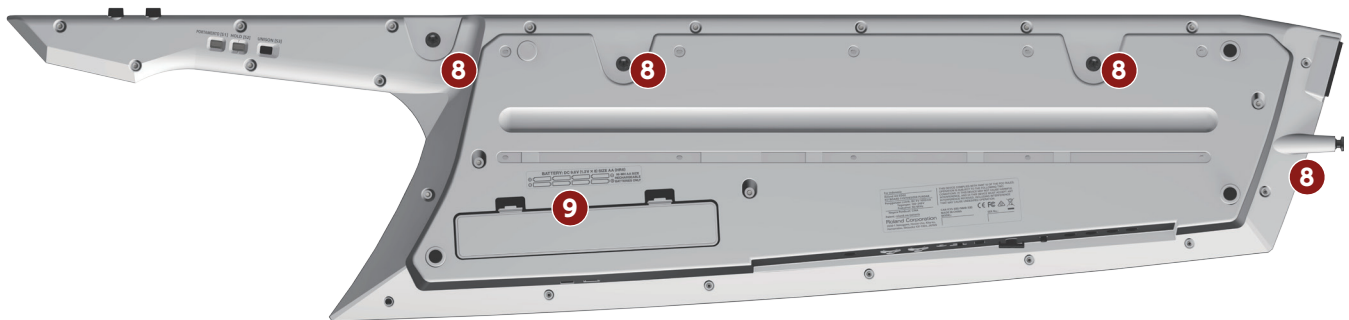
また、コントローラーを指で押し込むと音が変わります。

OCTAVE [-] [+] ボタン ([54], [55] ボタン)

10 ページ

鍵盤のキーを 1 オクターブ単位でトランスポーズさせます。

ボトム・パネル (本体裏面)



8 ストラップ・ピン

付属のストラップを取り付けます。
演奏スタイルに合わせて、2つのピン位置を選んでください。

9 電池ケース

単 3 ニッケル水素電池 (8 個) を挿入します。

→ 「電池を入れる」 (P.5)

10 ネット・コントロール部 (ボトム・パネル)



[PORTAMENTO] ボタン ([S1] ボタン)

10 ページ

ポルタメントのオン/オフを切り替えます。
別のピッチに変わるときに、なめらかに変化します。

[HOLD] ボタン ([S2] ボタン)

10 ページ

ホールドのオン/オフを切り替えます。
演奏音を持続させます。

[UNISON] ボタン ([S3] ボタン)

11 ページ

ユニゾンのオン/オフを切り替えます。
同じトーンを重ねて鳴らして音を厚くします。

※ [S1] ~ [S7] ボタン、モジュレーション・バー、リボン・コントローラー、コントロールつまみ、ペダルは、コントロールするパラメーターを変更することができます。
設定を変更する方法については、「操作子ごとに機能を設定する」 (P.12) をご覧ください。

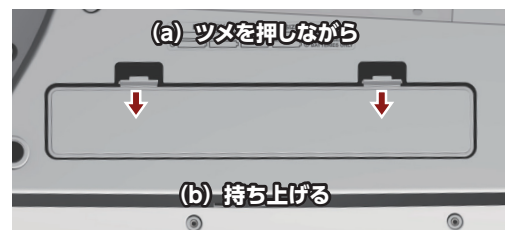
電池を入れる

本機を電池で駆動するには単 3 ニッケル水素電池が 8 個必要です。
充電できる単 3 ニッケル水素電池の使用をお勧めします。電池が消耗するまでの時間は使用状態によって異なりますが、連続使用での目安は約 4 時間です。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

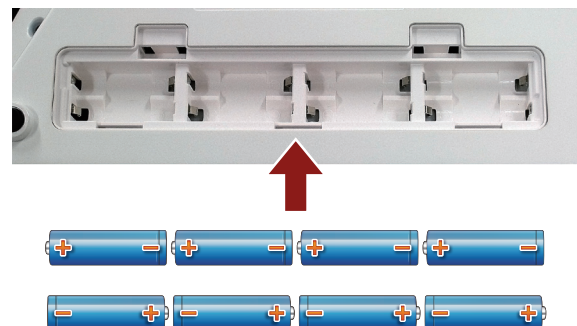
※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」チラシと取扱説明書 (P.22) に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

1. 本機の電源をオフにします (P.8)。
2. 本機裏面にある電池カバーのツメを押しながら、カバーをはずします。



3. 「+」、「-」の向きに注意して、電池をバッテリー・ケースに入れます。

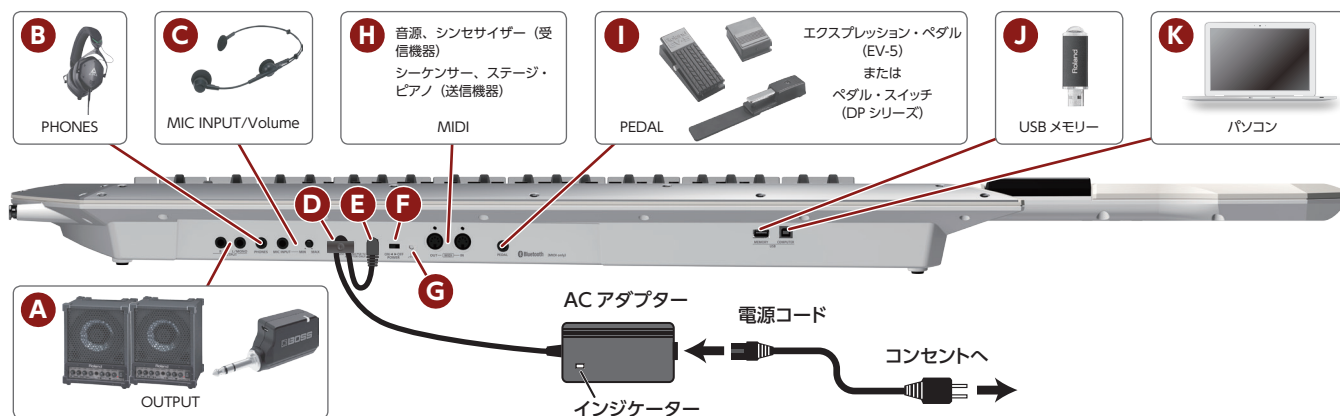
電池の「+」と「-」を間違えないように、指示どおり入れてください。



4. 電池ケースのカバーを閉めます。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



A OUTPUT (L/MONO, R) 端子

オーディオ信号の出力端子です。アンプやワイヤレス・トランスミッターなどを接続します。

モノで出力するときは、L/MONO 端子に接続してください。

B PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

C MIC INPUT

MIC INPUT 端子

ダイナミック・マイクを接続します。

[MIC INPUT Volume] つまみ

マイク入力の音量を調節します。

D コード・フック

付属の AC アダプターを DC IN 端子に接続しているときは、コードが誤ってはずれてしまわないよう、このフックにコードを固定してください。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。

E DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターは、インジケーター（図参照）のある面が上になるように設置してください。

AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

※ AC アダプターは必ず付属のものをお使いください。それ以外のアダプターをお使いになると誤動作や感電の原因となります。

※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ 本機を長時間ご使用にならないときは、AC アダプターをコンセントからはずしておいてください。

F [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

※ 電源を入れる/切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる/切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

G 機能接地端子

設置条件によっては、本機や本機に接続した機器（マイクやギターなど）の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは接地端子（図参照）を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管（感電の原因になります）
- ガス管（爆発や引火の原因になります）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）

H MIDI (IN/OUT) 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

I PEDAL 端子

別売のローランド DP シリーズ／EV-5 を接続します。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

J USB MEMORY 端子

USB メモリーを接続します。

本体の電源を切った状態で USB メモリーの抜き差しをしてください。

※ 市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。

K USB COMPUTER 端子

USB ケーブルを使用して、パソコンの USB 端子へ接続します。USB MIDI 機器として動作します。

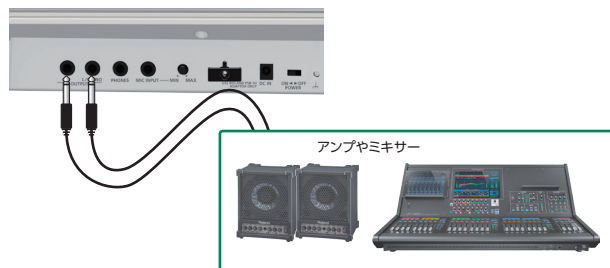
ドライバーのインストールは不要です。

外部機器と接続する

アンプ、ミキサーなどを接続する

本機はアンプやスピーカーを内蔵していません。音を出すにはキーボード・アンプやモニター・スピーカー、ステレオ・セットなどのオーディオ機器に接続するか、ヘッドホンをご使用ください。

1. リア・パネルの OUTPUT 端子を外部機器の入力端子に接続します。



接続には、標準タイプのアンバランス（モノ）ケーブルを使用してください。接続先の機器へ差し込むプラグは、その入力端子に合ったものをお使いください。

- ※ モノで使用されるときは、OUTPUT 端子の L/MONO に接続してください。
- ヘッドホンをお使いのときは PHONES 端子に接続します。このときは他のオーディオ機器に接続する必要はありません。

ワイヤレス・システムでアンプなどに接続する

市販のワイヤレス・システムを使い、さらに本体を電池駆動で使用すれば、ステージ上でケーブル・フリーのアグレッシブなプレイができます。

- ※ 地域の無線規格に準拠したワイヤレス・トランスミッターを必ずご使用ください。

1. リア・パネルの OUTPUT 端子にワイヤレス・トランスミッターを接続します。



- ※ お使いのワイヤレス・トランスミッターによって端子の形状が異なります。
- ※ お使いのアンプがモノ・チャンネルのとき、1 台のトランスミッターのみを本機の L/MONO 端子に接続します。

2. ワイヤレス・レシーバーのオーディオ出力をミキサーやアンプなどに接続します。

MIDI 対応音源をコントロールする

1. 本機の MIDI OUT 端子をコントロールしたい音源モジュールやシンセサイザーの MIDI IN 端子に接続します。



- ※ 必要に応じて、接続する音源やシンセサイザーをアンプやスピーカーなどに接続してください。詳細はお使いの音源、シンセサイザーの取扱説明書をご覧ください。

外部 MIDI 機器からコントロールする

MIDI 信号を受信し、本機の音源で選ばれている音色を使って演奏できます。

1. 本機の MIDI IN 端子をコントロール側の機器の MIDI OUT 端子に接続します。



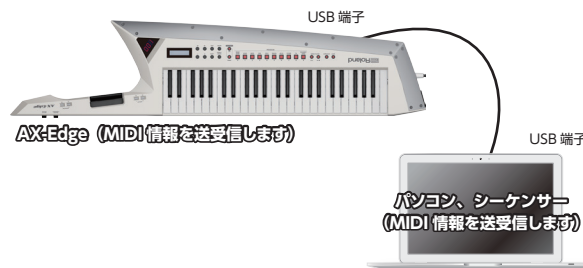
メモ

MIDI の送信／受信チャンネルは、システム・パラメーターの Basic Channel、Program Control Channel で設定します。また、マスター・キーボード機能を使うときは、プログラム・パラメーターで各パートの MIDI 送信チャンネルを設定します。

詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

パソコンやシーケンサーと接続する

シーケンス・ソフトウェアやソフトウェア音源を搭載したパソコンと接続し、本機をマスター・キーボードとして録音／演奏するときは、以下のように接続します。



電源を入れる

1. AX-Edge → 接続した機器の順番で、電源を入れます。

※ AX-Edge は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

2. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。

自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

→ 「一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off) (P.8)」

- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

電源を切る

1. 接続した機器 → AX-Edge の順番で、電源を切ります。

全体の音量を調節する (マスター・ボリューム)

全体の音量を調節します。

1. ネック・コントロール部の [MASTER VOLUME] つまみで調節します。

一定時間がたつと自動で電源が切れるようにする (Auto Off)

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [Auto Off] を選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

自動で電源を切る必要がないときは、[OFF] に設定します。

パラメーター	設定値
カーソル [◀] [▶]	[-] [+]
Auto Off	OFF、30min、240min

4. 変更を保存するときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [MENU/WRITE] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

Write System ?
[Exit]:N [Ent]:Y

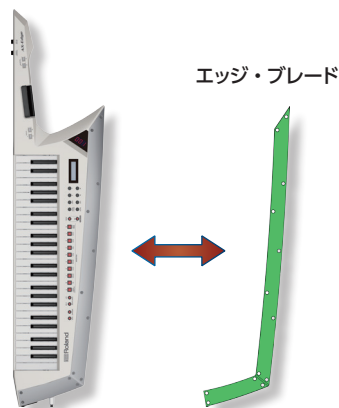
※ システム設定は、システム設定画面の表示中に保存します。システム設定画面以外ではシステム・ライトできません。

5. 実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。

中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

エッジ・ブレードを付け替える

本機には予備のエッジ・ブレードが 1 枚付属しています。



1. 付属の六角レンチでネジをはずします。

2. エッジ・ブレードを取り替えます。

3. ネジを取り付けます。

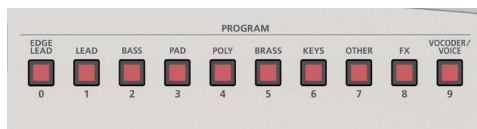
ご注意！

ネジを強く締めすぎるとパネルや本体を破損してしまう恐れがあります。締めすぎにご注意ください。

音色（プログラム）を選ぶ

AX-Edge の音色（プログラム）は 10 のカテゴリーに分類され、それぞれのカテゴリーに 32 個のプログラムが入っています。

1. **[EDGE LEAD] ~ [VOCODER/VOICE]** ボタンを押して、カテゴリーを選びます。



2. **[-] [+]** ボタンを押して、プログラムを切り替えます。

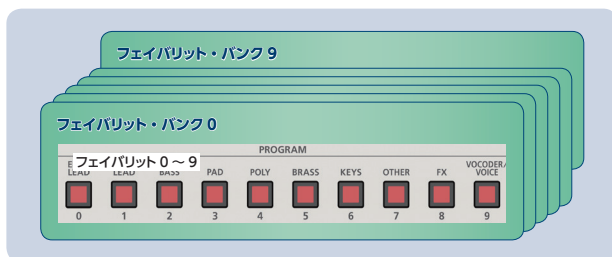


メモ

- 片方のボタンを押しながらもう一方のボタンを押すと、値が速く変わります。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[-] [+]** ボタンを押しても、カテゴリーが切り替わります。
- ネット・コントロール部にある **PROGRAM [-] [+]** ボタンで、プログラムの切り替えができます。

よく使う音色をボタンに登録する (FAVORITE)

「**フェイバリット**」は、よく使う音色（プログラム）を登録して、ボタン 1 つで呼び出すことのできる機能です。
フェイバリットには、プログラムの番号が登録されます。



メモ

- フェイバリット 0 ~ 9 を 1 つのセットとして、計 10 セットをフェイバリット・バンクに登録することができます。
- 音色の呼び出しや登録には、**[0] ~ [9]** の 10 個のボタンを使います。

ご注意！

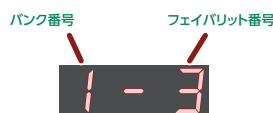
エディット中のプログラムは、先にプログラムを保存してからフェイバリットに登録してください。

フェイバリットを登録する

1. 登録するプログラムを選びます。
2. **FAVORITE [BANK]** ボタンを押して、点灯させます。
3. **[0] ~ [9]** ボタンを押して、登録先のバンクを選びます。
4. **FAVORITE [ON]** ボタンを押しながら、登録先にしたい **[0] ~ [9]** のボタンを 1 つ押します。
現在選んでいるプログラムが登録されます。

フェイバリットを呼び出す

1. **FAVORITE [ON]** ボタンを押して点灯させます。
[0] ~ [9] ボタンがフェイバリット選択ボタンになります。
FAVORITE 機能が ON のときは、**バンク／ナンバー・ディスプレイ**の表示が以下になります。



2. **[0] ~ [9]** ボタンを押して、フェイバリットを選びます。
フェイバリットが登録されていないボタンを押すと、画面に **[Not Registered!]** と表示されます。

フェイバリット・バンクを切り替える

1. **FAVORITE [BANK]** ボタンを押して、点灯させます。
現在選ばれているバンクに対応するボタン (**[0] ~ [9]**) が点滅します。
2. **[0] ~ [9]** ボタンを押して、バンクを選びます。

メモ

ディスプレイにバンク番号しか表示されていないときは、**[0] ~ [9]** ボタンを押して、フェイバリットを選んでください。

フェイバリットを削除する

1. フェイバリットが登録されているバンクに切り替えます。
2. **FAVORITE [ON]** ボタンを押して点灯させます。
3. **[SHIFT]** ボタンを押しながら、フェイバリットが登録されている **[0] ~ [9]** ボタンを 1 つ押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。
フェイバリットが登録されていないボタンを押すと、画面に **[Not Registered!]** と表示されます。
4. **[ENTER]** ボタンを押します。
再度確認画面が表示されます。
5. 実行するときは、もう一度 **[ENTER]** ボタンを押します。

演奏機能を使う

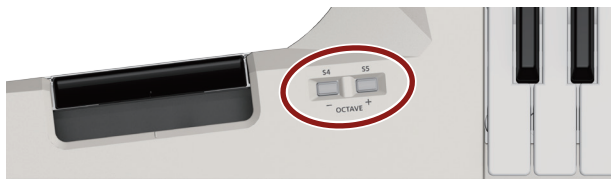
本機には、演奏の表現力を深めたり、ピッチなどを変更したりできる多彩な機能が搭載されています。

ボタンやコントローラーを使う

鍵域をオクターブ高く／低くする (オクターブ・シフト)

鍵盤の音域を、1 オクターブ単位で移動することができます。

1. OCTAVE [-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。



メモ

- 最大±3 オクターブまで設定できます。オクターブが変更されているときは、**OCTAVE [-] ボタン**または **[+] ボタン**が点灯します。
- 元に戻すには、**OCTAVE [-] ボタン**と **[+] ボタン**を同時に押します。

ボタンを押している間だけ音域を移動する

OCTAVE [-] [+] ボタンを押している間だけ、鍵盤を 1 オクターブ上下に移動させる設定に変更します。ボタンを離すと通常の鍵域に戻ります。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [S4 (M)] を選び、[-] [+] ボタンで値を [MOMENTARY] に変更します。

4. 次にカーソル [◀] [▶] ボタンで [S5 (M)] を選び、[-] [+] ボタンで値を [MOMENTARY] に変更します。

メニュー	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
CTRL BUTTON	S4 (M)	MOMENTARY : ボタンを押している間だけオクターブが上下に移動します。
	S5 (M)	LATCH : ボタンを押すたびにオクターブが上下に移動していきます (±3 オクターブまで)。

5. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

➔「システム設定を保存する (システム・ライト)」(P.20)

※このボタンに、**OCTAVE [-] [+]** 以外の機能を割り当てることができます。ボタンに機能を割り当てる方法は、「操作子ごとに機能を設定する」(P.12) をご覧ください。

音をなめらかに変化させる (ポルタメント)

ポルタメントとは、最初に弾いた鍵盤と次に弾いた鍵盤とのピッチの差をなめらかに変化させる機能です。

[PORTAMENTO] ボタンを押すたびに、ポルタメントのオン/オフが切り替わります。

メモ

ポルタメントのかかり具合は、選ばれているトーンの設定によって異なります。

ボタンを押している間だけポルタメントをかける

[PORTAMENTO] ボタンを押している間だけ、ポルタメントをオンにします。ボタンから離すとポルタメントがオフになります。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [S1 (M)] を選び、[-] [+] ボタンで値を [MOMENTARY] に変更します。

メニュー	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
CTRL BUTTON	S1 (M)	MOMENTARY : ボタンを押している間だけポルタメントをオンにします。 LATCH : ボタンを押すたびにポルタメントのオン、オフが切り替わります。

4. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

➔「システム設定を保存する (システム・ライト)」(P.20)

※このボタンに、**[PORTAMENTO]** 以外の機能を割り当てることができます。ボタンに機能を割り当てる方法は、「操作子ごとに機能を設定する」(P.12) をご覧ください。

音を持続させる (ホールド)

アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルと同じように、鍵盤上で弾いた音を持続させます。

[HOLD] ボタンを押している間、ホールドがオンになります。鍵盤を弾いて **[HOLD] ボタン**を押すと、音が持続します。

ボタンでホールドのオン/オフを切り替える

[HOLD] ボタンを押すたびに、ホールドのオン/オフを切り替えます。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [S2 (M)] を選び、[-] [+] ボタンで値を [LATCH] に変更します。

メニュー	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
CTRL BUTTON	S2 (M)	MOMENTARY : ボタンを押している間だけホールドをオンにします。 LATCH : ボタンを押すたびにホールドのオン、オフが切り替わります。

4. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

→ 「システム設定を保存する (システム・ライト)」 (P.20)

※ このボタンに、[HOLD] 以外の機能を割り当てることができます。ボタンに機能を割り当てる方法は、「操作子ごとに機能を設定する」 (P.12) をご覧ください。

同じトーンを重ねて鳴らして音を厚くする (ユニゾン)

「ユニゾン」をオンにすると、パート1のトーンにピッチを微妙にずらした同じトーンを重ねて音を厚くすることができます。

[UNISON] ボタンを押すたびにユニゾンのオン、オフが切り替わります。

メモ

- 効果のかかり具合は、選ばれているトーンの設定によって異なります。

ボタンを押している間だけユニゾンをオンにする

[UNISON] ボタンを押している間だけユニゾンがオンになるように設定することができます。ボタンを離すとユニゾンがオフになります。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [S3 (M)] を選び、[-] [+] ボタンで値を [MOMENTARY] に変更します。

4. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

→ 「システム設定を保存する (システム・ライト)」 (P.20)

※ このボタンに、[UNISON] 以外の機能を割り当てることができます。ボタンに機能を割り当てる方法は、「操作子ごとに機能を設定する」 (P.12) をご覧ください。

演奏中に音が変わらないようにする (ロック機能)

AX-Edge では演奏中に誤ってボタンを押して音が変わってしまうことがないように、一部のボタンを効かないようにすることができます。

1. [LOCK] ボタンが点灯するまでボタンを押し続けます。

ロック機能がオンになり、ネック・コントロール部以外のボタンが効かなくなります。

通常状態に戻すには、再度 [LOCK] ボタンが消灯するまで押し続けます。

メモ

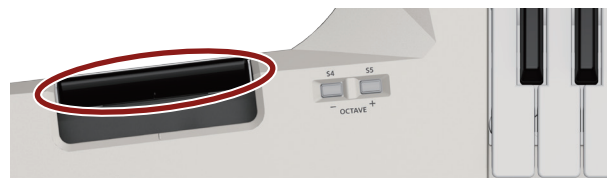
- ネック・コントロール部のボタンはロックはかかりません。
- ロック機能はトップ画面 (プログラム切替画面) でのみ有効です。

演奏中にサウンドを変化させる

AX-Edge は、さまざまな操作子を使って、演奏中にサウンドを変化させることができます。

モジュレーション・バーを使う

モジュレーション・バーを押すと、モジュレーションがかかります。



※ モジュレーション・バーによる効果は設定によって異なります。通常は、モジュレーション・バーを押すとビブラート効果がかかります。設定を変更するには、「操作子ごとに機能を設定する」 (P.12) をご覧ください。

リボン・コントローラーを使う

リボン・コントローラーに指を触れたまま左右に動かしてサウンドを変化させることができます。また、このコントローラーは指を押し込む圧力によってもサウンドを変化させることができます。



※ リボン・コントローラーによる効果は設定によって異なります。通常は、左右方向はピッチを変化させるピッチ・ベンドとして機能します。圧力方向はビブラート系の効果がかかります。設定を変更するには、「操作子ごとに機能を設定する」 (P.12) をご覧ください。

リボン・コントローラーを無効にする

本機のリボン・コントローラーは、操作を無効にすることができます。左右方向だけ、もしくは圧力だけで音の効果をかけたいときに便利です。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

メニュー [SHIFT] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
CTRL RIBBON	Posi (Position)	OFF: 左右方向の操作を無効にします。
	Pres (Pressure)	OFF: 圧力の操作を無効にします。

その他、さまざまな値に変更することができます。

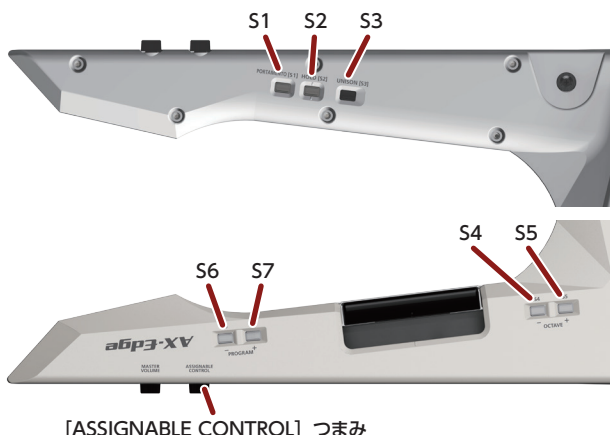
詳しくは、『パラメーター・ガイド』 (PDF) をご覧ください。

メモ

- 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。
→ 「システム設定を保存する (システム・ライト)」 (P.20)
- プログラムの設定によっては、システム設定を変更しても操作が無効にならない場合があります。詳しくはパラメーター・ガイドをご覧ください。

コントロール・ボタン／つまみを使う ([S1] ~ [S7] ボタン / [ASSIGNABLE CONTROL] つまみ)

ネック・コントロール部のコントロール・ボタン ([S1] ~ [S7] ボタン) や [ASSIGNABLE CONTROL] つまみにはさまざまなパラメーターを割り当てて、ボタンやつまみの操作でサウンドを変化させることができます。



[ASSIGNABLE CONTROL] つまみ

コントロール・ボタン／つまみを操作したときの効果を操作子ごとに設定することができます。詳しくは、「操作子ごとに機能を設定する」(P.12) をご覧ください。

メモ

つまみの値は自動的に元に戻りませんので、効果をかけたくないときは [0] に戻してください。

ペダルを使う

PEDAL 端子に接続したペダル・スイッチやエクスプレッション・ペダルにさまざまなパラメーターを割り当てて、サウンドを変化させたり機能をコントロールしたりすることができます。

ペダルによる効果は設定によって異なります。

ペダル・スイッチやエクスプレッション・ペダルを操作したときの効果を設定できます。詳しくは、「操作子ごとに機能を設定する」(P.12) をご覧ください。

押さえた鍵盤をさらに押して音を変化させる (アフタータッチ)

AX-Edge の鍵盤には、アフタータッチ・センサーが搭載されています。鍵盤を押し込むことでサウンドを変化させることができます。

アフタータッチによる効果は、トーンのパラメーター設定によって異なります。

トーンの設定は、[AX-Edge Editor] を使って変更することができます。

詳しくは、「AX-Edge Editor のマニュアル」をご覧ください。

操作子ごとに機能を設定する

[S1] ~ [S7] ボタン / モジュレーション・バー / リボン・コントローラー / コントロールつまみ / ペダルは、コントロールするパラメーターを変更することができます。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

メニュー	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
CTRL BUTTON	S1 (F) ~ S7 (F)	[S1] ~ [S7] ボタンに割り当てるパラメーターを設定します。
	S1 (M) ~ S7 (M)	[S1] ~ [S7] ボタンの動作モードを設定します。 MOMENTARY : ボタンを押している間だけオンにします。 LATCH : ボタンを押すたびにオン、オフが切り替わります。
CTRL KNOB	Func	[ASSIGNABLE CONTROL] つまみに割り当てるパラメーターを設定します。
CTRL PEDAL	Func	ペダルに割り当てるパラメーターを設定します。
	Pole	ペダルの極性を設定します。
CTRL RIBBON	Posi	RIBBON CONTROLLER (リボン・コントローラー) に割り当てるパラメーターを設定します (左右方向)。
	Pres	RIBBON CONTROLLER (リボン・コントローラー) に割り当てるパラメーターを設定します (圧力)。
CTRL MOD BAR	Func	MODULATION BAR (モジュレーション・バー) に割り当てるパラメーターを設定します。

詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

4. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

→ 「システム設定を保存する (システム・ライト)」(P.20)

メモ

これらの操作子の設定は、プログラムごとに設定して記憶させることもできます。音色 (プログラム) ごとに、操作子の設定を切り替えたいときに便利です。プログラム・コントロールパラメーターの中の各操作子の Source (Src) を、System (SYS) から Program (PRG) に設定します。

詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

その他の演奏機能を使う

USB メモリーのオーディオ・ファイルに合わせて演奏する (Song Player)

AX-Edge では、パソコンで USB メモリーにコピーしたオーディオ・ファイル (MP3、WAV) を再生し、それに合わせて演奏することができます。

1. AX-Edge で USB メモリーをフォーマットします。

→ **「USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)」** (P.20)

メモ

- 市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。
- ファイル名は 1 バイト文字 (半角英数字) にすることをお勧めします。2 バイト文字 (全角文字) を使用すると、**LCD ディスプレイ**にファイル名が正しく表示されません。

2. [SONG LIST] フォルダーの中に、オーディオ・ファイルをコピーします。

再生可能なオーディオ・ファイル

MP3	
フォーマット	MPEG-1 audio layer 3
サンプリング周波数	48kHz
ビット・レート	32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320kbps、VBR (Variable Bit Rate)
WAV	
サンプリング周波数	48kHz
ビット数	16 / 24 ビット

※ サンプリング周波数は MP3、WAV ともに 48kHz のみです。
48kHz 以外のサンプリング周波数のファイルは、パソコン側のソフトを使って、48kHz に変換してから使います。

3. USB メモリーを AX-Edge の USB MEMORY 端子に接続します。

4. SONG PLAYER [LIST] ボタンを押します。

LCD ディスプレイにオーディオ・ファイルが表示されます。

5. カーソル [◀] [▶] ボタンで、曲を選びます。

ご注意!

オーディオ・ファイル名に全角文字を使用したときは、**LCD ディスプレイ**に正しく表示されません。

6. SONG PLAYER [▶/■] ボタンを押して、再生します。

もう一度 **SONG PLAYER [▶/■] ボタン**を押すと、停止します。

メモ

- [-] [+] ボタン**で、曲の音量を調整します。
- 音量の設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。
→ **「システム設定を保存する (システム・ライト)」** (P.20)

アルペジオ演奏をする (Arpeggio)

[ARPEGGIO] ボタンを押して点灯させると、アルペジオ機能がオンになります。

「アルペジオ」とは、和音を分散して鳴らす演奏方法です。

1. [ARPEGGIO] ボタンを押して点灯させます。

2. 鍵盤を押さえます。

アルペジオが演奏されます。

アルペジオをエディットする

アルペジオの設定はプログラムごとに保存します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら、[ARPEGGIO] ボタンを押します。

メモ

[MENU/WRITE] ボタンを押して **[ARPEGGIO]** を選んでも、同じ画面が表示されます。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、設定する項目を選びます。

3. [-] [+] ボタンで、値を設定します。

パラメーターについて詳しくは、『**パラメーター・ガイド**』(PDF)をご覧ください。

4. 設定を保存するときは、プログラム・ライトの操作をします。

→ **「プログラムを保存する (プログラム・ライト)」** (P.16)

5. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

メモ

アルペジオのテンポを変更するときは、プログラムのテンポを変更します。また、プログラムを変えてもテンポを変えない設定にもできます。詳しくは、『**パラメーター・ガイド**』(PDF)をご覧ください。

ボコーダーを使う (Vocoder)

「ボコーダー」は、人の声にかかるエフェクトのことです。人の声をボコーダーに通すと、抑揚のないロボットのような音声に変化させることができます。ピッチは鍵盤を弾いてコントロールします。

※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音（キーンという音）が出ることがあります。そのときは、以下のように対処してください。

- マイクの向きを変える
- マイクをスピーカーから遠ざける
- 音量を下げる

1. リア・パネルの MIC INPUT 端子にマイクを接続します。

ご注意！

AX-Edge はダイナミック・マイクのみに対応しています。コンデンサー・マイクには対応していません。

2. リア・パネルの [MIC INPUT Volume] つまみで音量を調整します。

MIC INPUT の音量は、音色（プログラム）を選んだあとに細かく調整します。

まずは、中央付近につまみを合わせてください。

3. [VOCODER/VOICE] ボタンを押します。

4. [-] [+] ボタンで、音色（プログラム）を選びます。

プログラム名称が、[Voc.] から始まるプログラムは、あらかじめボコーダー用にパラメーターが設定されているプログラムです。

5. 鍵盤を弾きながら、マイクに向かって声を出します。

MIC INPUT ボリュームで音量を微調整します。

ボコーダーの設定を変更する

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、[VOCODER] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで、パラメーターを選び、[-] [+] ボタンで、値を変更します。

パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF)をご覧ください。

4. 設定を保存するときは、プログラム・ライトの操作をします。

ボコーダー設定は、プログラムごとに保存します。

➔ 「プログラムを保存する (プログラム・ライト)」 (P.16)

5. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

マイクの感度を調整する

演奏環境によっては周囲のノイズをマイクが拾って、ボコーダーが意図どおりに使えないことがあります。

そのときはマイクの感度を調整して、ノイズを拾いにくくします。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

メニュー [SHIFT] + カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [-] [+]
MIC	NS Sw	OFF、ON: ノイズ・サプレッサーのオン/オフ（無音時のノイズを抑える）
	NS Thrs	0 ~ 127: ノイズを抑え始める音量
	NS Rls	0 ~ 127: ノイズを抑え始めてから、音量が 0 になるまでの時間

4. 設定を保存するときは、システム・ライトの操作をします。

➔ 「システム設定を保存する (システム・ライト)」 (P.20)

AX-Edge をマスター・キーボードにする

プログラム内のパートごとに、外部 MIDI 音源をコントロールするための設定をします。

AX-Edge 1 台で、本体と外部音源を別々にコントロールすることができます。

1. **[MENU/WRITE] ボタンを押します。**
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで **[PROGRAM CTRL]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで **[TxMode]** を選び、**[–] [+]** ボタンで値を変更します。

メニュー [SHIFT] +カーソル [◀] [▶]	パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [–] [+]
MIDI OUT	TxMode	ON: 通常は、この値に設定されています。AX-Edge の内部音源と外部 MIDI 機器に、同じ MIDI メッセージを送信します。 トーンを選択、切り替え情報 (バンクセレクト、プログラム・チェンジ) は、そのパートで選ばれているトーンの設定になります。 OFF: 特定のパートの MIDI メッセージを外部 MIDI 機器に送信したくないときに設定します。 MKB: マスター・キーボードとして、外部 MIDI 機器をコントロールするときに設定します。

この設定は、パートごとにできます。

4. **パートを切り替えるときは、[1] ~ [4] ボタンを押します。**

パート 1 が選ばれているときは、**LCD ディスプレイ**の右上に **[P1]**と表示されます。パート 2 を選ぶと **[P2]**と表示されます。

外部 MIDI 機器をコントロールするパラメーターを設定する

PROGRAM CTRL 内の以下のパラメーターで、外部 MIDI 機器をコントロールする設定をします。

パラメーター カーソル [◀] [▶]	設定値 [–] [+]	説明
MkbCH (MKB MIDI Channel)	OFF、1 ~ 16	送信する MIDI Ch を決めます。
MSB (Bank Select MSB)	OFF、0 ~ 127	プログラム・ナンバーやバンク・セレクト MSB / LSB を数値で入力して、外部 MIDI 機器の音色を切り替えます。
LSB (Bank Select LSB)	OFF、0 ~ 127	
PC (Program Change)	OFF、1 ~ 128	
MkbVOL (Volume)	OFF、0 ~ 127	外部 MIDI 機器の音量を調節します。

5. **設定を保存するときは、プログラム・ライトをします。**

マスター・キーボードの設定は、プログラムごとに保存します。

➔ **「プログラムを保存する (プログラム・ライト)」** (P.16)

音色をエディットする

AX-Edge には、音に関するエディットが 3 種類あります。

プログラム・エディット

プログラムに関するパラメーターを変更します。各パートのオン/オフやレベル調整、プログラムごとのエフェクトの設定、ボコーダーの設定などがあります。

システム・エフェクト・エディット

出音全体にかかるエフェクト（システム・エフェクト）の設定を変更します。

システム・エフェクトには、コーラス/ディレイ、リバーブ、EQ、コンプレッサーがあります。

トーン・エディット

トーンに関するパラメーターを変更します。

トーン・エディットは AX-Edge 本体ではできません。専用のスマートフォン・アプリ『AX-Edge Editor』を使ってエディットします。

詳しくは、『AX-Edge Editor』をご覧ください。

ご注意！

エディットした設定は、保存（ライト）しないと消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、以下の手順に従って保存してください。

エディットしたトーンは、AX-Edge Editor で保存します。

システム・エフェクトをエディットする

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで、**[SYSTEM EFFECT]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで、**パラメーター**を選び、**[−]** [**+**] ボタンで、値を変更します。
詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。
4. 変更を保存するときは、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
SYSTEM WRITE の確認画面が表示されます。

```
Write System ?  
[Exit]:N [Ent]:Y
```

5. 実行するときは、**[ENTER]** ボタンを押します。

中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。

メモ

システム・エフェクトを保存するときは、システム・エフェクト設定画面で、ライト操作をしてください。他の画面では、システム・エフェクトの保存ができません。

プログラムをエディットする

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[PROGRAM SOUND]** もしくは **[PROGRAM CTRL]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンでパラメーターを選び、**[−]** [**+**] ボタンで値を変更します。
詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

プログラムを保存する（プログラム・ライト）

4. 変更を保存するときは、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
プログラム名入力画面が表示されます。

```
PROG NAME [Ent]  
InitProg
```

5. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンでカーソルを移動し、**[−]** [**+**] ボタンで文字を変更します。
6. 名前の設定が終わったら、**[ENTER]** ボタンを押します。
保存先のプログラムを選ぶ画面が表示されます。
7. **[−]** [**+**] ボタンで、保存先のプログラムを選びます。
画面の下段に保存先のプログラム名が表示されます。
保存するとプログラムは上書きされ、以前のデータは消去されます。
8. **[ENTER]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
9. 実行するときは、**[ENTER]** ボタンを押します。
中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。

ご注意！

エディット中のプログラムは電源を切ったり、他のプログラムを選んだりすると設定変更は取り消されます。設定を残しておきたいときは、プログラムを保存してください。

外部機器を接続する

MIDI 機器と接続する (MIDI IN/OUT 端子)

本機を外部 MIDI 機器に接続して演奏データ (MIDI 情報) を送受信することで、両機器を互いにコントロールすることができます。



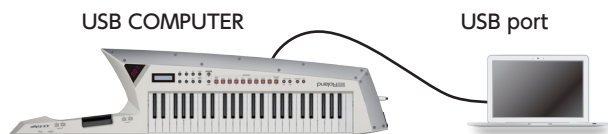
- ➔ 演奏データを送受信するための設定については、『**パラメーター・ガイド**』(PDF) をご覧ください。
- ➔ 送受信する MIDI 情報については、『**MIDI インプリメンテーション**』(PDF) をご覧ください。
- ➔ 外部機器を MIDI でコントロールするときは、『**AX-Edge をマスター・キーボードにする**』(P.15) をご覧ください。

パソコンと接続する (USB COMPUTER 端子)

本機の USB 端子を経由して、パソコンと MIDI 情報をやりとりします。本機をパソコンに接続する際、ドライバをインストールする必要はありません。

メモ

- AX-Edge は USB オーディオには対応していません。
- 動作条件や対応 OS については、ローランドのホームページをご覧ください。

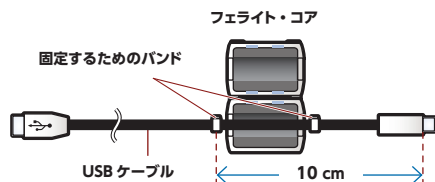


- ➔ 送受信する MIDI 情報については、『**MIDI インプリメンテーション**』(PDF) をご覧ください。
- ➔ 外部機器を MIDI でコントロールするときは、『**AX-Edge をマスター・キーボードにする**』(P.15) をご覧ください。

フェライト・コアの取り付け

USB ケーブルを使用して AX-Edge をパソコンに接続するときは、付属のフェライト・コアを取り付ける必要があります。これは、電磁干渉を防ぐためのものです。取りはずさないでください。

1. フェライト・コアを USB ケーブルに接続します。



2. カチッと閉まるまで押さえてください。



- ※ フェライトコアを取り付けるときは指をはさまないように注意してください。
- ※ ケーブルをフェライト・コアで過度にはさんで破損させないでください。

Bluetooth® 機器と接続する

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器 (以下、『**モバイル機器**』と呼びます) と本機が無線でつながり、MIDI データをやりとりすることができます。

スマートフォン専用の AX-Edge Editor (Android 版 / iOS 版) を使い、AX-Edge の音色設定を変更することができます。

AX-Edge Editor は、Google Play / App Store からダウンロードできます。

また、AX-Edge Editor 以外にも、Bluetooth MIDI 対応のアプリを接続することができます。

メモ

本機は Bluetooth オーディオには対応していません。

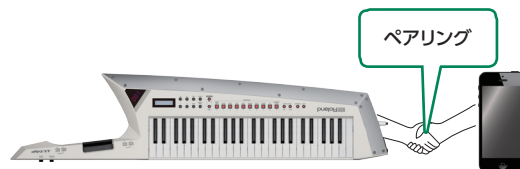
Bluetooth 機能をオンにする

本機とモバイル機器を接続するために、本機の Bluetooth 機能をオンにします。

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル **[◀] [▶]** ボタンで **[SYSTEM]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル **[◀] [▶]** ボタンで **[Bluetooth]** を選び、**[–] [+]** ボタンで値を **[ON]** に変更します。
4. 設定を保存するときは、**システム・ライト**の操作をします。
➔ **「システム設定を保存する (システム・ライト)」** (P.20)
5. 設定が終わったら、**[EXIT]** ボタンを何回か押してトップ画面に戻ります。

トップ画面の右上に Bluetooth マーク (📶) が表示されます。

モバイル機器と接続する



1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。

メモ

本機を複数台お持ちのとき、ペアリングする機器のみ電源を入れてください (他の機器の電源は切ってください)。

2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。
3. モバイル機器のアプリ (AX-Edge Editor 等) の設定で、本機と接続をします (ペアリング)。

ペアリングが完了すると、本機トップ画面の右上の Bluetooth マークが反転表示 (📶 → 📶) になります。



ご注意!

モバイル機器の Bluetooth 設定に表示されている **[AX-Edge]** をタップしないでください。使用するアプリ内で接続します。詳しくは、使用するアプリの取扱説明書をご覧ください。

その他の機能

電池残量を確認する

電池残量の表示

以下の方法で、電池の残量を確認することができます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら、FAVORITE [BANK] ボタンを押します。

バンク／ナンバー・ディスプレイに電池残量が 0 ～ 100 (%) で表示され、LCD ディスプレイには BATTERY INFO の画面が表示されます。

2. もう一度、[SHIFT] ボタンを押しながら、FAVORITE [BANK] ボタンを押します。

元の画面に戻ります。

メモ

BATTERY INFO 画面は、MENU から也表示することもできます。

※ 電池残量の表示はあくまでおおよその目安です。

※ AC アダプターが接続されているときは、表示は常に「100」になります。

電池消耗時の表示

電池駆動中に電池残量が少なくなると、バンク／ナンバー・ディスプレイ右下のドットが点灯します。なるべく早い時点で電池交換してください。



さらに使い続けるとドットが点滅に変わり、LCD ディスプレイに「Charge Battery」と表示されるようになります。使用を中断し、電池交換してください。

ご注意！

ドットが点滅してからさらに使用を続けると、「Battery Low!」(バンク／ナンバー・ディスプレイには「Lo!」)と表示され、操作ができなくなり、電源が自動的に切れます。

※ 本機を使いながら電池を充電することはできません。

※ 電池残量の表示は、おおよその目安です。

便利な機能 (UTILITY)

AX-Edge のデータを USB メモリーにバックアップしたり、USB メモリーのデータを AX-Edge に復元したりすることができます。また、AX-Edge を工場出荷時の設定に戻したり、USB メモリーをフォーマットしたりするときも、「UTILITY」(ユーティリティ)を使います。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「UTILITY」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで実行したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー カーソル [◀] [▶]	説明
BACKUP	ユーザー・データを USB メモリーにバックアップします。 システム／ユーザー設定 (SVD) が作成されます。
RESTORE	USB メモリーにバックアップしたデータを本体に戻します。
IMPORT TONE	トーン・データをインポートします。
FACTORY RESET	本体の設定を、工場出荷時の状態に戻します。

メニュー カーソル [◀] [▶]	説明
RESET USR DATA	ユーザ・ライセンスと WAVE EXPANSION を除いた設定・データを初期化します。
REMOVE LICENSE	ユーザ・ライセンスと WAVE EXPANSION を初期化します。
USB MEM FORMAT	USB メモリーを初期化します。

※ RESET USR DATA と REMOVE LICENSE は、WAVE EXPANSION をインストールしている場合のみ表示されます。WAVE EXPANSION のインストールは「SOUND PACK / WAVE EXPANSION インストール・マニュアル」をご覧ください。

4. 実行したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

データを USB メモリーにバックアップする (BACKUP)

ユーザー・データを USB メモリーにバックアップします。

バックアップされるデータ

- プログラムの全データ (ボコーダーやアルペジオの設定含む)
- ユーザー・トーン・データ
- フェイスリット
- システム設定 (システム・エフェクト含む)

ご注意！

画面に「Executing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「UTILITY」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「BACKUP」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

BACKUP NAME 画面が表示されます。

4. カーソル [◀] [▶] ボタンでカーソルを移動し、[-] [+] ボタンで文字を変更します。

5. ファイル名が決まったら、[ENTER] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. 実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。

バックアップが完了すると、「Completed!」と表示されます。同じ名前のファイルがあるときは、上書きするか (Overwrite?) 確認画面が表示されます。

バックアップしたデータを復元する (RESTORE)

USB メモリーにバックアップしたユーザー・データ、本体に戻します。これを「リストア」と呼びます。

ご注意！

- リストアを実行すると、すべてのユーザー・データは書き替えられます。本体に大切なデータが保存されているときは、リストアをする前に、別の名前を付けて USB メモリーにバックアップしてください。
- 画面に「Executing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [RESTORE] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
4. [-] [+] ボタンで、リストアするファイルを選びます。
5. [ENTER] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
6. 実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。
リストアが完了すると、「Completed. Turn off power.」と表示されます。
7. AX-Edge の電源を入れ直します。

音色を追加する (IMPORT TONE)

ダウンロードしたトーンや他機種でエクスポートしたトーンを、追加音色として AX-Edge にインポートすることができます。ここでは、他機種のエクスポート機能などを使って用意した SVZ ファイルのインポート方法について説明します。

1. インポートしたいトーンの SVZ ファイルを USB メモリーの ROLAND/SOUND フォルダーに保存して、AX-Edge に接続します。
2. [MENU/WRITE] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
4. カーソル [◀] [▶] ボタンで [IMPORT TONE] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
5. [-] [+] ボタンでインポートしたいトーンが入っているファイルを選び、[ENTER] ボタンを押します。
6. [-] [+] ボタンでインポートしたいトーンを選び、[ENTER] ボタンで * マークを付けます。
7. [▶] ボタンを押します。
8. [-] [+] ボタンでインポート先のトーンを選び、[ENTER] ボタンを押して * マークを付けます。

- ※ インポート先に選んだトーンは、上書き保存されます。ご注意ください。
- ※ [INIT TONE] という名前のトーンがある場合は、インポート先のトーンとして自動的に選ばれます（自動的に [+] マークが付きます）。トーンを残しておきたいときは、チェック・マークをはずしてください。
- ※ すべてのトーンを選択/選択解除したい場合は、[SHIFT] ボタンを押しながら [ENTER] ボタンを押してください。

9. [▶] ボタンを押します。

10. 実行するときは [ENTER] ボタンを押します。

インポートが完了すると、「ImportCompleted!」と表示されます。

- ※ 「Executing...」などと表示されていて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)

AX-Edge で変更し保存した設定、工場出荷時の設定に戻すことができます。

- ※ この操作を実行すると、音色パラメーターを含め、お買い上げあとに、変更した設定内容はすべて失われます。
- ※ 現在の設定があとで必要なときは、工場出荷時の状態に戻す前に、必ずバックアップ機能 (P.18) を使用して現在の設定を保存しておいてください。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [FACTORY RESET] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. [ENTER] ボタンを押します。
再度確認画面が表示されます。
5. 実行するときは、もう一度 [ENTER] ボタンを押します。
6. LCD ディスプレイに「Completed.」と表示されたら、AX-Edge の電源を入れ直します。

ユーザー・データを初期化する (RESET USR DATA)

WAVE EXPANSION をインストールしている場合、ユーザ・ライセンスと WAVE EXPANSION を除いた設定・データを初期化できます。

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [UTILITY] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで [RESET USR DATA] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. [ENTER] ボタンを押します。
再度確認画面が表示されます。
5. 実行するときは、もう一度 [ENTER] ボタンを押します。
6. LCD ディスプレイに「Completed.」と表示されたら、AX-Edge の電源を入れ直します。

ユーザー・ライセンスを初期化する (REMOVE LICENSE)

WAVE EXPANSION をインストールしている場合、ユーザ・ライセンスと WAVE EXPANSION を初期化できます。

ユーザー・ライセンスを初期化すると、新たなユーザー・ライセンスでダウンロードした SOUND PACK や WAVE EXPANSION をインストール/インストールすることが出来ます。

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[UTILITY]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[REMOVE LICENSE]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。
4. **[ENTER]** ボタンを押します。
再度確認画面が表示されます。
5. 実行するときは、もう一度 **[ENTER]** ボタンを押します。
6. LCD ディスプレイに **[Completed.]** と表示されたら、AX-Edge の電源を入れ直します。

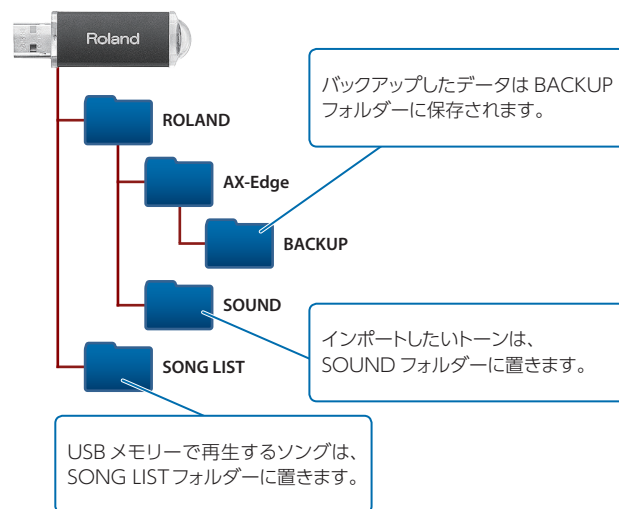
USB メモリーをフォーマットする (USB MEM FORMAT)

ご注意！

- 大切なデータが USB メモリーに保存されているとき、この操作をするとデータがすべて失われてしまいますのでご注意ください。
- 画面に **[Executing...]** と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[UTILITY]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[USB MEM FORMAT]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。
4. 実行するときは、**[ENTER]** ボタンを押します。
再度確認画面が表示されます。
5. もう一度 **[ENTER]** ボタンを押します。
フォーマットが完了すると、**[Completed!]** と表示されます。

USB メモリーのフォルダー構成



システム設定をする (SYSTEM)

システム・パラメーターの設定をします。

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[SYSTEM]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで変更したいパラメーターを選び、**[−]** [**+**] ボタンで値を変更します。
詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

システム設定を保存する (システム・ライト)

1. SYSTEM 画面で、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
中止するときは、**[EXIT]** ボタンを押します。
2. 保存するときは、**[ENTER]** ボタンを押します。

プログラムのバージョンを表示する (VERSION INFO)

AX-Edge のシステム・プログラムのバージョンを表示します。

1. **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。
2. カーソル [**◀**] [**▶**] ボタンで **[VERSION INFO]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

ローランド AX-Edge : ショルダー・デジタルキーボード

鍵盤	49 鍵 (ペロシティー対応、アフタータッチ付き)
電源	DC9V AC アダプター、単 3 形ニッケル水素電池 (別売) × 8
消費電流	1,000mA * 連続使用時の電池の寿命 (使用状態によって異なります) ニッケル水素電池: 約 5 時間 (容量 1,900mAh 使用時) (USB メモリー接続時: 約 4 時間) * マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
外形寸法	1,252 (幅) × 291 (奥行) × 85 (高さ) mm
質量 (電池、ストラップ除く)	4.2kg
付属品	取扱説明書、『安全上のご注意』チラシ、AC アダプター、電源コード、保証書、ローランド ユーザー登録カード、ストラップ、エッジ・ブレード (六角レンチ、ネジ含む)、フェライト・コア (取り付け用バンド含む)
別売品	AX-Edge 専用スタンド (ST-AX2)、ペダル・スイッチ: DP シリーズ、エクスプレッション・ペダル (EV-5)

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.8)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・ 付属品
六角レンチ、ネジ (P.8)
- ・ 取りはずしが可能な部品
ネジ (P.8)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



注意

エッジ・ブレードの取り扱いに注意する

エッジ・ブレードは先端が尖っている箇所がありますので、ケガなどしないよう取り扱いに十分注意してください。



使用上のご注意

電池について

- ・ 電池で使用する場合は充電式ニッケル水素電池を使用してください。

設置について

- ・ 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- ・ 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- ・ 本機を壁などに立てかけないでください。倒れて破損するなど、故障の原因になります。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

外部メモリーの取り扱い

- ・ 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
- ・ 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
- ・ 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- ・ 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- ・ 本製品を分解/改造する
- ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) や特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、アマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等 (たとえば、パーティションの設置など) についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- ・ その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
- ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- ・ 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど) の著作権は当社が保有しています。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (ただしデモ曲などの楽曲データは除く) を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・ 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- ・ Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1